

特定地域への車両集中に伴う問題

仙台駅・国分町

■仙台駅前(名掛丁入口)



■国分町入り口付近(定禅寺通り)



仙台市では、規制緩和後タクシーが急増したため、一般のタクシー需要が少なくなる夜間は、国分町(仙台市中心部歓楽街)周辺にタクシー車両が集中し、二重、三重停車による客待ち行為が発生している。

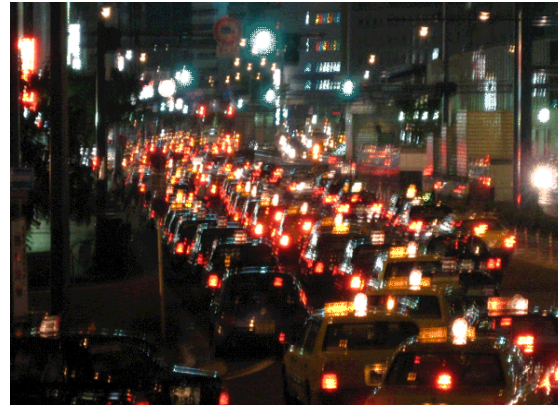
そのため、交通渋滞を引き起こし、路線バスや歩行者等の一般の交通の妨げとなっているばかりでなく、交通事故の多発や騒音、排ガスによる周辺環境の悪化が社会問題化している。

大阪駅

■大阪駅周辺(北新地)



■同上



北新地タクシー乗り場周辺の国道2号線(写真上は2番乗り場付近)では、22時から乗り場以外でのタクシー乗車禁止、北新地内車両乗入れ禁止、駐停車禁止の三つの規制が始まるが、客待ち車両により、タクシー乗場のある幹線道路(4車線)がタクシー車両で埋め尽くされ、一般の交通にも影響が生じている。

千葉駅

■ショットガンシステム開始前の千葉駅前の渋滞列



■ショットガンシステム開始後の千葉駅前



千葉駅東口では、夜間においてタクシーの渋滞列(約2km)が慢性化していた(写真上)。

平成17年10月から千葉市役所駐車場を待機場とするショットガンシステムの実証実験を実施し(平成18年11月からはIT(1,300台のタクシー車両にスマートプレートを装着)を活用)、実証実験終了後の現在は人力による発券方式で運用しており、タクシーの渋滞列はほぼ解消されている(写真下)。

IV. 運賃関係

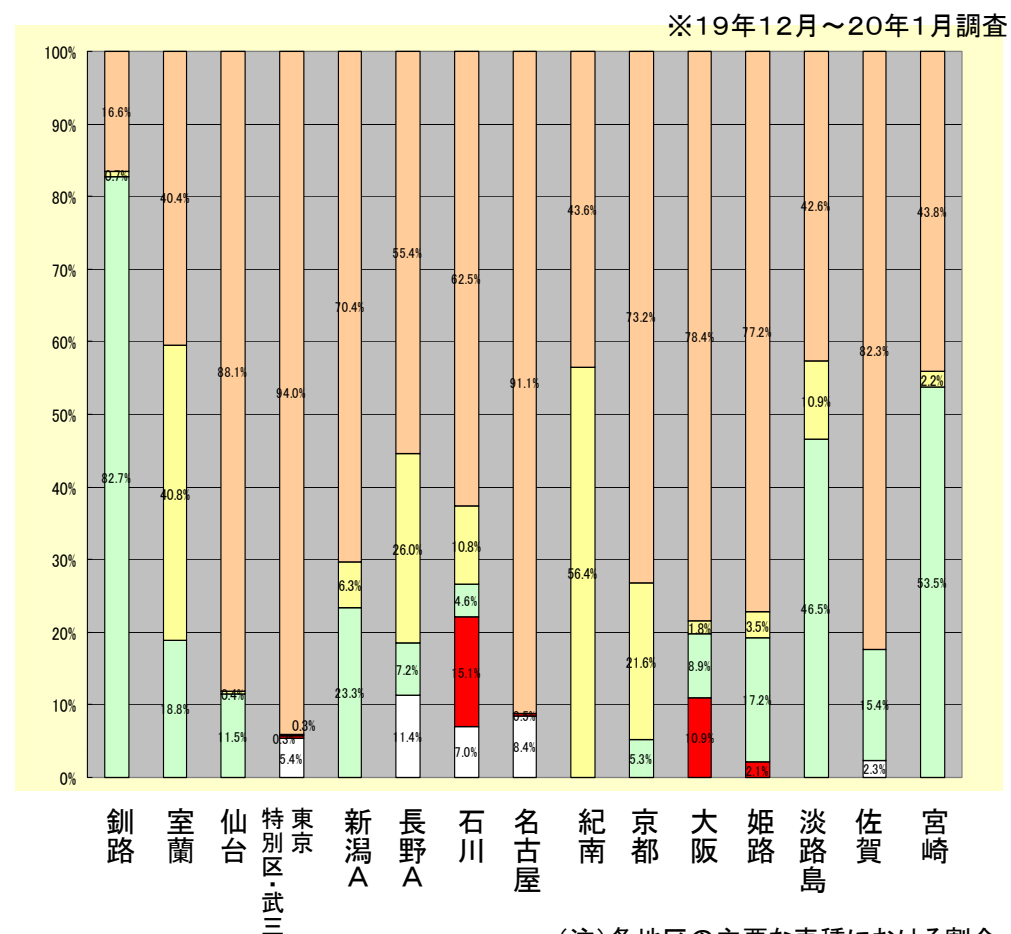
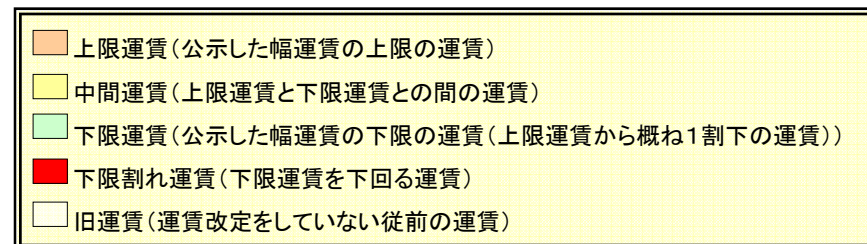
運賃の設定状況について

各地区における上限運賃の割合

※19年12月～20年1月調査

100%	12地区
95%以上－100%未満	23地区
90%以上－95%未満	14地区
85%以上－90%未満	9地区
80%以上－85%未満	7地区
75%以上－80%未満	4地区
70%以上－75%未満	4地区
65%以上－70%未満	3地区
60%以上－65%未満	2地区
55%以上－60%未満	2地区
40%以上－45%未満	4地区
40%未満	6地区
計	90地区

運賃設定が多様化している主な地区



(注)各地区の主要な車種における割合